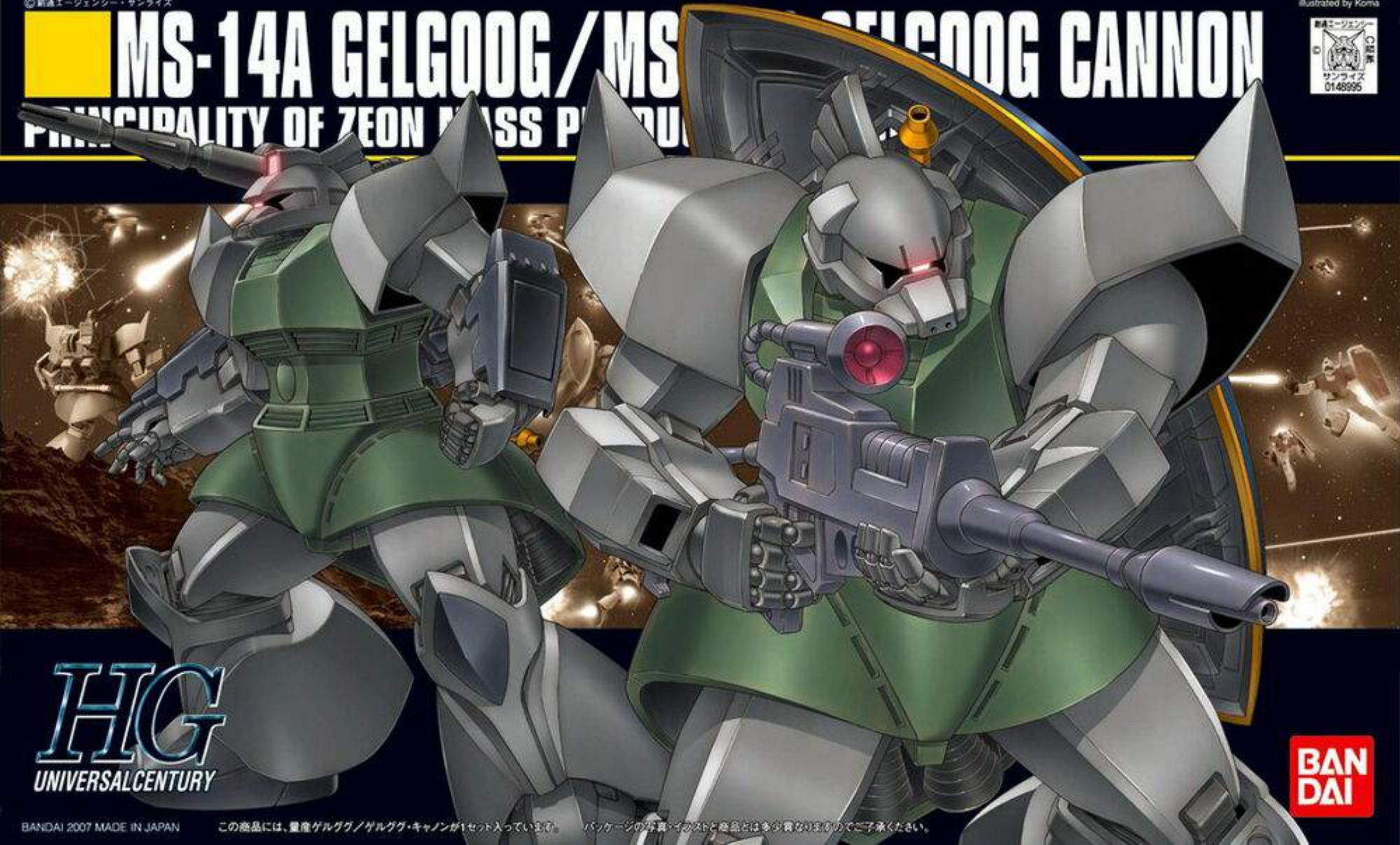


©新機エージェンシー・サンライズ

Illustrated by Koma

MS-14A GELGOOG / MS-14A GELGOOG CANNON



HG
UNIVERSAL CENTURY



BANDAI 2007 MADE IN JAPAN

この商品には、量産ゲルググ/ゲルググ・キャノンが1セット入っています。パッケージの写真・イラストと商品とは多少異なる場合がございます。

MS-14A GELGOOG / MS-14C GELGOOG CANNON

PRINCIPALITY OF ZEON MASS PRODUCTIVE MOBILE SUIT

© 創通エージェンシー・サンライズ

MODEL NUMBER : MS-14A (MS-14C)
TOTAL HEIGHT : 19.2 (19.3)m
TOTAL WEIGHT : 42.1 (55.8)t
FULL LOAD WEIGHT : 73.3 (79.8)t
GENERATOR OUTPUT : 1440kw
MATERIAL : SUPER HARD STEEL ALLOY
ARMAMENTS : BEAM RIFLE
BEAM NAGINATA (BEAM SABER)
SHIELD
(BEAM CANNON, 3-TUBE MISSILE
LAUNCHER, BUCKLER SHIELD)



1/144 SCALE

HG
UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2007 MADE IN JAPAN

Scanned by Dalong.net

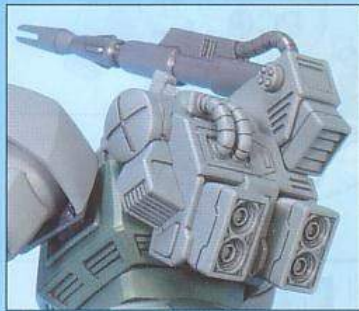
●写真の完成品は塗装してあります。

0148995

**BAN
DAI**

MS-14A GELGOOG / MS-14C GELGOOG CANNON

「ゲルググ」はMS-06 ザクⅡの後継機、そして新たな標準機として開発された機体である。ジオン公国軍において初めてビーム兵器を標準装備としたMSであり、一年戦争時に量産された機体の中では屈指の完成度を持つ機体である。ゲルググは、地球連邦軍の「ガンダム」を強く意識した機体であり、開発の前提としてビーム兵器の搭載が検討され、その稼働に対応した高出力のジェネレーターと、高い近接戦闘能力を有している。つまり、対MS戦闘を本格的に想定した機体であり、白兵戦闘能力に加え、ビーム兵器の標準装備によって、長距離戦闘にも対応する事が可能である。何よりも、そのビーム・ライフルの威力は絶大であり、戦艦並みの破壊力をこの機体にもたらしている。開発計画そのものはかなり早い時期から存在していたものの、高度な汎用性の獲得やビーム兵器の開発などに手間取り、実戦に投入されたのは一年戦争末期となった。そのため、基本性能ではジムを大きく上回るにも関わらず、パイロットの養成や生産、配備が間に合わず、あまり大きな戦果を挙げることはできなかった。しかし、その基本性能は、一説によれば「ガンダム」をも凌いでおり、優秀なパイロットに適正配備されていたなら、一年戦争の結末は違っていたはずと評価されている。初期の機体には、量産が遅れていたビーム・ライフルの代わりにキャノンバックを装備したのも多く、頭部もそれに適合したユニットを採用している。この機体はMS-14C ゲルググキャノンと呼ばれ、頭部のセンサーとリンクしたキャノン砲のセミオートマチックドライブを可能としている。つまり、パイロットはトリガーを引くだけで良く、機体の制御に専念しつつ、同時に近接戦闘にも対応可能であった。「ゲルググ」は、先行量産型の生産に前後して、いわゆるノーマル仕様のAタイプが83機、Bタイプが67機、Cタイプが15機生産され、その全てが実戦に投入されたと言われているが、これらの数値は複数の資料の平均値であり、終戦時にはCタイプ122機分に相当するパーツが存在していたという。最終的なゲルググの“総生産数”を[738機]とする資料も存在するが、複数の仕様違いや派生機、運用時期などに関する記録が信頼性に乏しく、あくまで参考数字として扱われている。



キャノンバック

開発が遅れていたビーム・ライフルの代わりに採用されたオプション装備。水陸両用MSのデバイスを組み込んだビーム・キャノンと、増加した自重を相殺するためのバーニアスラスタ、プロペラントタンクがユニット化されている。



ビーム・ライフル

公国軍が初めて量産に成功したMS用のビーム・ライフル。ガンダムが装備するものに勝るとも劣らない性能を持つ。

3連ミサイルランチャー

追加装備として開発された。近接戦闘に効果的な武装であるため、Cタイプの腕部に装着されることが多かった。



SPEC

型式番号：MS-14A(MS-14C)

頭頂高：19.2(19.3)m

本体重量：42.1(55.8)t

全備重量：73.3(79.8)t

ジェネレーター出力：1440kw

装甲材質：超硬スチール合金

武装：ビーム・ライフル、

ビーム・ナギナタ(ビーム・サーベル)、シールド<ビーム・キャノン、3連ミサイルランチャー、バックラー・シールド>



ビーム・サーベル

ゲルググが装備するビーム・サーベルは、「ナギナタ」状のビーム刃をユニットの両端で生成するツインソードが採用されている。無論、一方のみでの稼働も可能。

頭部

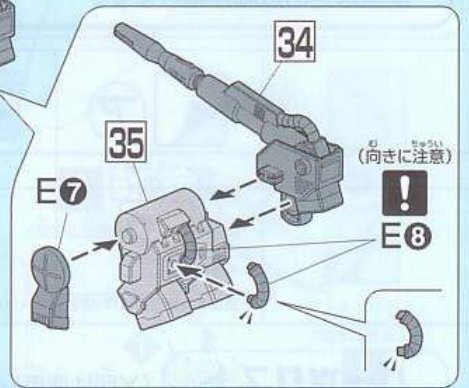
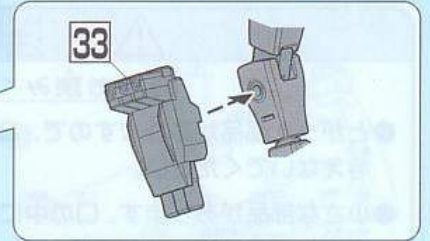
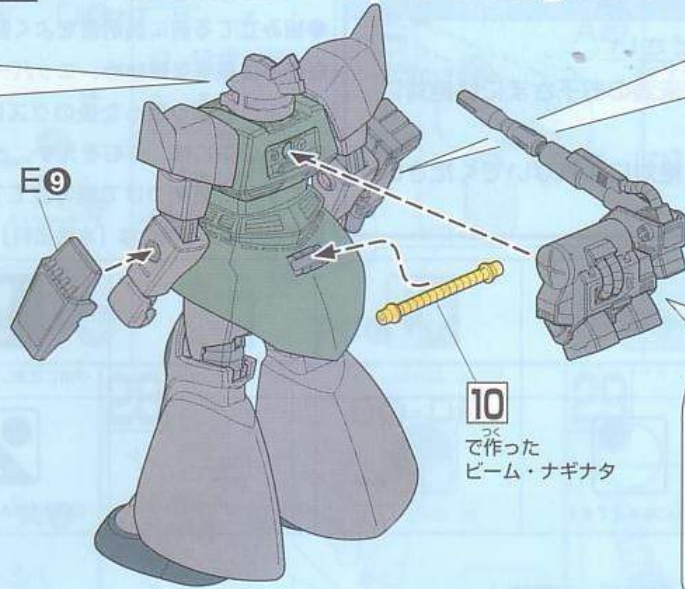
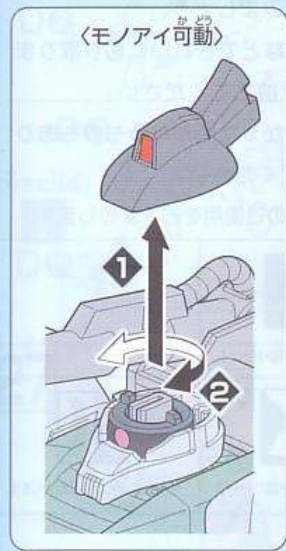
高度な通信機器と高性能なセンサーの複合体。ザクでは露出していた動力伝達パイプなどの各部品は装甲内に納められている。指揮官機は頭部裝飾兼用のブレードアンテナを装備する場合が多い。

バックラー・シールド

近接戦闘時のポイント的な防衛のために作られた追加装甲。ある程度の効果はあったが、実際には3連ミサイルランチャーのカウンターウェイトとして機能していた。

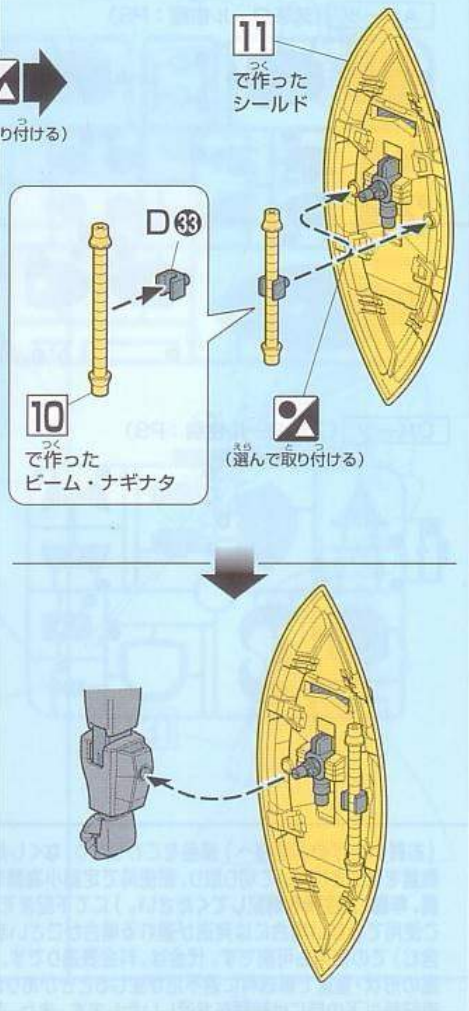
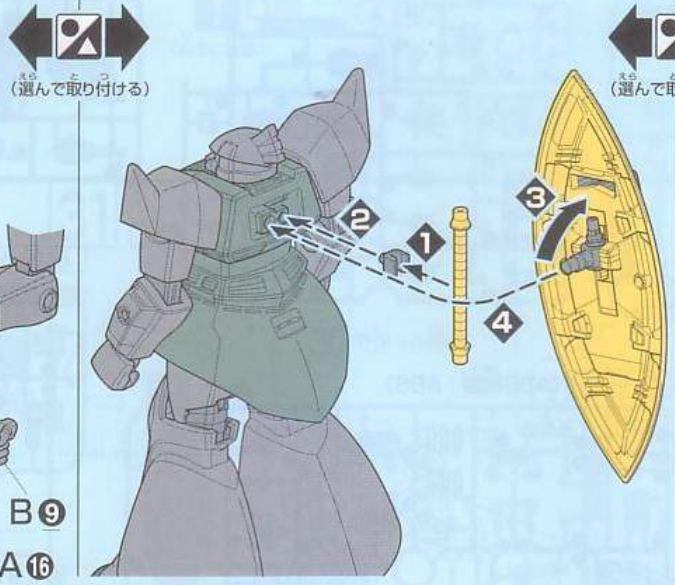
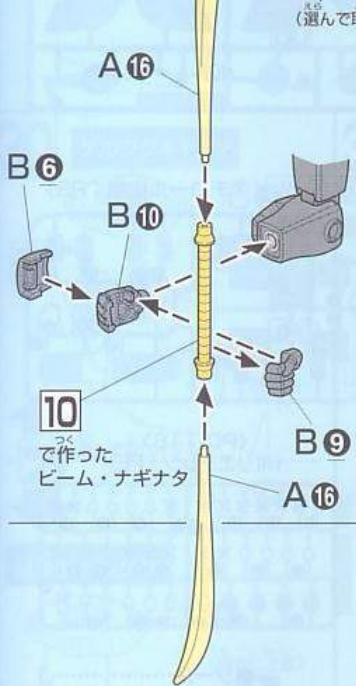
ゲルググキャノン

Scanned by Dalong.net

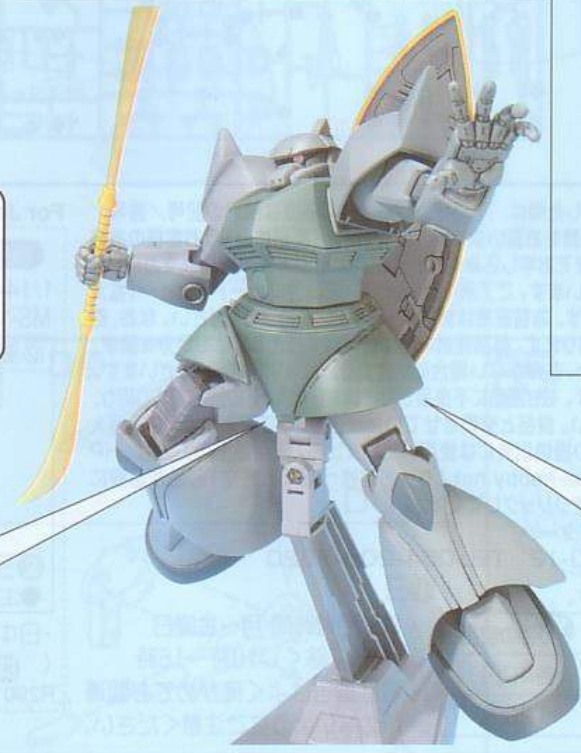


量産型ゲルググ

※ライフル・手首は外しておきます。



●バンダイプラモデル アクションベース1 (別売り) を取り付ける場合は、①股間止め用(8mm)に対応しています。



MS-14C GELGOOG CANNON

ゲルググキャノン

MS-14A GELGOOG

量産型ゲルググ



※この商品にスタンドは含まれておりません。



MS-14A/C 量産型ゲルググ/ゲルググキャノン

MS-14A ゲルググは、TVシリーズ「機動戦士ガンダム」および劇場用作品「機動戦士ガンダムⅢ ～めぐりあい宇宙(そら)～」などに、ゲルググキャノンは、「MSV」に登場したMSである。U.C.0079年12月31日。公国軍の秘密兵器ソーラ・レイによって壊滅的な打撃を受けた連邦艦隊は、ホワイトベースを拠点に残存艦艇を結集。ルザルを旗艦として態勢を立て直し、公国軍の宇宙要塞ア・バオア・クーを攻略する。周囲には無数の艦艇とMSが控え、旧ザクと新鋭機ゲルググが混在する有り様は、まさしく総動員の様相を呈していた。対する連邦もあつたけの戦力を差し向ける。特にホワイトベースの部隊は突出していた。「いけーっ」「いただきっ」カイがガンキャノンで敵機を狙い、ハヤトが後に続く。「さすが新型」セイラはそのスベックに驚嘆しつつゲルググを一蹴する。新鋭機であるはずのゲルググはしかし、万全の養成を経たはずの素人が多く動員されていた。まさしく「ジオンに兵なし」であったと言わざるを得ない。「見えるぞ、私にも敵が見える!!」岩陰に取り付いたアムロの視界に、ガンダムを執拗に付け狙うシャアのジオングが迫る。「やるしかないのか!?!」意を決して踏み出したアムロの前に、学徒兵のゲルググが現れる。「なぜ出てくる!!」やむなく撃破するアムロ。「ああっ、ひっ、火が、母さん!!」その爆炎の照り返しを受けながら、アムロはジオング目掛け突進する。光がひとつ煌めくたびに命が消えてゆく。ア・バオア・クーは無数の閃光に包み込まれていく。戦争は結局を迎えようとしていた……。



●写真はイメージです。

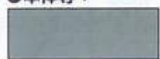
Scanned by Dalong.net

COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご確認ください。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
 ※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

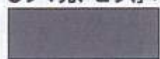
※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。

●本体等：



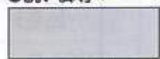
ネービーブルー (65%)
 +デイトナグリーン (35%)

●ツマ先、ヒザ等：



ブラック (40%)
 +ミッドナイトブルー (30%)
 +インディブルー (30%)

●腕、脚等：



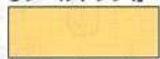
ニュートラルグレー (85%)
 +ネービーブルー (15%)

●キャノンバック：



ニュートラルグレー (70%)
 +ネービーブルー (30%)

●シールドフチ等：



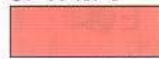
イエロー (85%)
 +オレンジ (15%)
 +ネービーブルー (少量)

●シールド裏：



ミッドナイトブルー (80%)
 +ミディアムブルー (10%)
 +パープル (10%)

●メインカメラ：



シャインレッド (100%)



注意

必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。

《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがったところがあるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。



・接着をするところ



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側に同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・ピンの締めすぎに注意



・切り取る場所



・部品を数個の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・数値に合わせて回転させます



・どちらかを選んで取り付ける

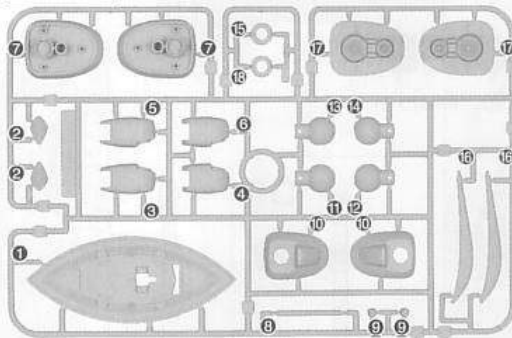


・反対側も同じように動きます

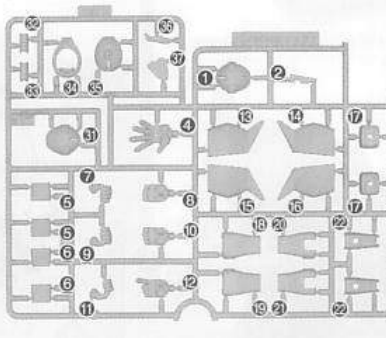
パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

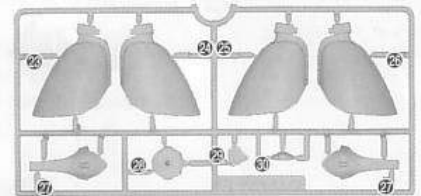
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



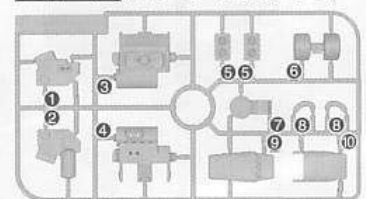
B1パーツ (スチロール樹脂: PS)



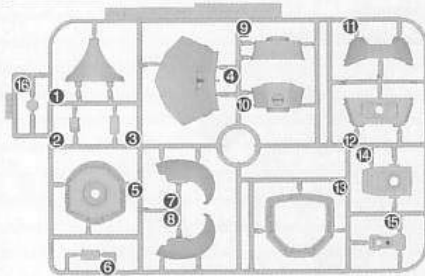
B2パーツ (スチロール樹脂: PS)



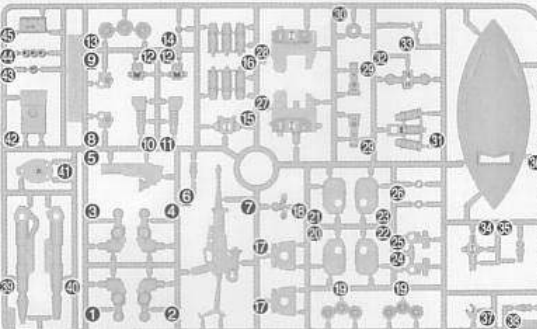
Eパーツ (スチロール樹脂: PS)



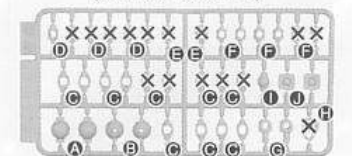
Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



Dパーツ (ABS樹脂: ABS)



〈PC-116〉 (ポリエチレン: PE)



Scanned by Dalong.net

●シール……………1

〈お買い上げのお客様へ〉部品をこわしたり、なくした時は、「部品注文カード」に必要な部品の記号／番号／数量をはっきり書いて切り取り、郵便局で定額小為替をお買い求めいただき、封書(裏面に必ず、お客様のお名前、年齢、ご住所を明記してください。)にて下記までお申し込みください。なお、やむをえず部品注文カードをご使用できない場合には発送が遅れる場合がございます。ご了承ください。又、部品注文カードはコピー(拡大含む)での使用も可能です。代金は、料金表通りです。為替証書は無記入(白紙)で同封してください。なお、部品の形状・重量で送料に過不足が生じることがあります。部品発送の際に表記額を超える時は不足分を請求、表記額以下の時は残額をお返しいたします。また、在庫がない場合には注文をお断りする場合がございます。その際は、お送り頂きました代金をお返しいたします。もし部品に不良品がございましたら、その部品を切り取り、商品名を書いて、下記まで封書にてお送りください。良品と交換させていただきます。ご記入頂きました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用いたしません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくは<http://bandai-hobby.net>より▶お客様へ■部品注文「部品が必要になったらこちらのページをご覧ください。」の所をクリックしてください。

■申し込み先 (株)バンダイ静岡相談センター
〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12 TEL 054-208-7520

《料金表》●部品代は切り取った1個の料金です。

部品番号	取扱説明書	シール	その他の部品
部品代	80円	40円	各40円
郵送料	80円	80円	120円

・電話受付時間 月～金曜日
(祝日を除く) 10時～16時
・電話番号はよく確かめてお間違いないようご注意ください。

For Japanese use only.

部品注文カード 0148995-1600

1/144SCALE HG UC MS-14A/C 量産型ゲルググ/ゲルググキャン

必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む)(こわした/なくした)

・日中ご連絡可能な電話番号 ・年齢

() () (才)

R2001466 '07.03

※コピー使用可

※ゲルググキャノンと量産型ゲルググの一般機 / 指揮官機どちらかを選択して組み立てる仕様です。

